



福岡ニューディール 雇用を創り 暮らしに活力を

福岡県知事 麻生 渡

世界大不況の影響により、本県の経済・雇用情勢は極めて厳しい状況が続いています。平成二十一年度当初予算の編成に当たっては、前年度に比べ三・五%増となる積極予算を組み、二十年度二月補正予算と一体となった十四カ月予算として、雇用の確保や経済の活性化に重点的に取り組むこととしました。

同時に、世界が一刻も早くこの危機を脱出するためには、技術革新や新しい考えを取り入れ、世界市場を創出していくことが不可欠です。このため、自動車や水素エネルギー、バイオなど、本県が進めてきた先端成長産業の育成により培ってきた技術や研究成果を大いに活用し、「新製品・新市場・雇用創出」のための十六大プロジェクト「福岡ニューディール」に重点的に取り組むこととしました。

例えば、「高齢者にやさしい自動車開発プロジェクト」では、高齢者が颯爽と運転する安全カーの開発を推進します。高齢化が進む地方においては日常生活に自動車は不可欠であります。高齢者を自動車の運転から遠ざけるのではなく、高齢者が安心して使うことができる自動車を専門的見地から検討し、開発するものです。プロジェクトの推進主体となる知事連合には全国三十五道府県が参加しています。高齢者が生き生きと活躍する社会を支える最先端の自動車を開発したいと考えています。

「水素家庭用燃料電池・燃料電池自動車開発による低炭素社会の構築」では、環境にやさしい水素エネルギー社会を実現するため「福岡水素戦略 (Hy-Life) プロジェク

ト」を推進しています。九州大学を中核とした世界最先端の研究開発、水素エネルギーを利用する世界最大のモデル都市「福岡水素タウン」、水素燃料自動車の走行を可能とする「水素ハイウェイ」など新技術を実社会で活用するための社会実証に取り組んでいます。

「ペプチドワクチンによる第四のがん治療法の実現」は、外科療法、薬物療法、放射線療法に次ぐ第四の免疫療法の実用化を進めるものです。免疫療法は、人間の免疫力を活性化させ、がんの成長を抑える副作用が少ない体にやさしい治療法です。現在、臨床実験を重ねており、実用化も近いと考えています。

「アジア若者文化ファッショ交流拠点プロジェクト」は、ポップミュージックやまんが・アニメ、ゲーム、ファッションなどアジアの若者に浸透している共通文化に着目し、アジアの新しい市場を形成しようとするものです。本県では、中国語、韓国語、タイ語、英語による多言語ウェブサイトを「アジアナビート」を開設し、情報発信はもとより、福岡発ブランドファッションやフィギュアなどを海外へもネット販売しています。また、「福岡アジアコレクション」を開催しアジアをリードするファッション産業の拠点化を進めています。

「インターネット通販拡大大作戦」では、県が運営する「福岡よかもん市場」で中小企業のインターネット通販を拡大します。また、世界最大級の企業間取引市場を運営する中国のアリババグループと提携し、海外市場での取引拡大にも取り組みます。

このように新しいことに積極的に挑戦し、日本の創造拠点となる県づくりに邁進します。

「福岡ニューディール」

「新製品・新市場・雇用創出のための16プロジェクト」

- 1 重点4分野（農業、福祉、新生活産業、安全）への人材移転政策
 - 2 高齢者にやさしい自動車開発プロジェクト
 - 3 「水素家庭用燃料電池・燃料電池自動車」開発による低炭素社会の構築
 - 4 石炭ガス化・高効率発電システムの開発
 - 5 超小型無線機による次世代高速大容量情報ネットワークの構築
 - 6 日本発明プログラミング言語Rubyによる新ソフトウェア産業の育成
 - 7 情報システム共通基盤の開発による次世代電子政府・自治体の実現
 - 8 ペプチドワクチンによる第四のがん治療法の実現
 - 9 医療・介護・生活支援ロボットの開発
 - 10 アジア若者文化ファッショ交流拠点プロジェクト
 - 11 コンテンツ産業の拠点構築プロジェクト
 - 12 インターネット通販拡大大作戦
 - 13 デザイン刷新による売れる商品づくり
 - 14 世界で売れる地域特産品づくりプロジェクト
 - 15 レアメタルリサイクルプロジェクト
 - 16 炭素繊維の用途拡大トリサイクル
- （詳しくは福岡県ホームページhttp://www.pref.fukuoka.lg.jp/）